

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		砂防(通常砂防)		路河川名等		(砂)白鳥川	
事業毎の通番		6		市町村名		栄村	
事業目的		蛇抜沢は一級河川千曲川右岸に流下する土石流危険渓流である。渓床は、第四紀更新世の火山岩類を主体としてローム層が薄く覆っており、平均約1/3の急勾配である。中流域では古い崩壊痕跡が見られるほか、一部で渓岸浸食が生じている。流域内には土石流対策施設が整備されておらず、土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域が人家にかかっており、今回砂防堰堤を準備し、土砂災害警戒区域内に人家45戸、避難所、第一次緊急輸送路等を保全する。		箇所名(ふりがな)		白鳥(しろとり)	
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		砂防法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家17戸、国道117号(第一次緊急輸送路)、JR飯山線					
着手年度		平成29年度		事業期間		3年間	
完成年度(見込み)		平成31年度		費用対効果		6.4	
全体事業内容(主な工種)		渓流保全工 L=320m		事業費(千円)		国庫 80,000 県債 72,000 一般財源 8,000	
年度事業内容(主な工種)		渓流保全工 L=50m		事業費(千円)		国庫 10,000 県債 9,000 一般財源 1,000	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 人家17戸、国道117号(第一次緊急輸送路)、JR飯山線の保全					
事業効果		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		【保全人家戸数】 11戸 【保全公共施設】 国道、村道、 【要配慮者利用施設】 【避難場所・避難路】 国道117号					評価
重要性		【災害履歴】 平成17年8月 土石流発生 【交通影響】 国道(第一次緊急輸送路) 【位置付け】 地域防災計画上の位置づけあり(第一次緊急輸送路(国道117号)、土石流危険渓流 I					評価
効率性		【費用対効果】 B/C=6.4 【早期効果発現】 事業期間 3年 【工法等比較検討】 比較検討済み 【総合調整】 調整済み					評価
緊急性		【地形地質】 天水山累層 【流域植生】 放置林主体 【平均渓床勾配・土砂整備率】 14° 整備率50%以上 【危険地区】 土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域あり					評価
計画熟度		【情報共有】 関係者に周知している(地元説明会実施済) 【地域要望】 地元及び村から要望あり 【地域合意】 反対意見なし 【住民参加】 関与は低い					評価
部意見		当該渓流の保全対象には、人家、JR飯山線、第一次緊急輸送路があり、速やかな土砂災害対策が必要である。		行政改革課意見		流域内には不安定土砂が堆積し、今後の降雨等により土砂流出の恐れがあり、保全対象に人家、JR飯山線、国道117号があることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	
				評価結果		総合評価	
				○		A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)		流域概要図(平面図)	
位置図		横断面図	
事業概要説明図表		砂防堰堤工	
土砂流出状		JR飯山線	
土砂流出状		国道117号	
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景		白鳥川は一級河川千曲川の右岸に流下する土石流危険渓流である。渓床は新生第4紀完新世を主体とした地層を呈しており、平均縦断勾配は1/7の急勾配である。流域内に土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域が人家や第一次緊急輸送路にかかっており、土砂災害警戒区域に人家17戸や鉄道等の保全対象がある。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり		平成17年8月に本渓流にて土石流災害が発生し、住民からハード整備推進の要望が出された。以降、砂防堰堤を整備している中で、下流の保全について対策する旨の要望が出されている。	
③事業説明等の経緯		平成20年10月3日 事業説明会	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連		土砂災害防止法に基づくソフト対策の取り組み	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮		現地発生材を利用するなど、環境に配慮した工事を実施する	
⑥地域活性化への影響と配慮		砂防事業により、人家の保全される。また、第一次緊急避難所が保全され、災害時の交通網が強化され地域防災力が向上する。	
⑦その他		-	
		事業代表地点の経度緯度	
		36° 59' 18.24"	
		138° 30' 26.96"	